# 第9回日本先進医工学ブタ研究会

The 9th Annual Meeting of Japanese Society of Swine for Advanced Technology and Translational Research

ブタを用いた研究から開発へのアプローチ

日時: 2023年 11月 24日(金)・25日(土) 会場: 東レ総合研修センター(静岡県三島市) TEL 099-275-5496 当番世話人: 狩野 真由美(株式会社日本バイオリサーチセンター) FAX 099-275-5502

日本先進医工学ブタ研究会事務局

〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘 8-35-1 鹿児島大学先端科学研究推進センター 生命科学動物実験ユニット 大動物研究推進部門内

TEL 099-275-5496 FAX 099-275-5502 E-mail: xenotoiawase@gmail.com

2023年11月吉日

日本先進医工学ブタ研究会関係各位

日本先進医工学ブタ研究会 会長 大西 彰 (日本大学) 第9回日本先進医工学ブタ研究会 当番世話人 狩野真由美 (日本バイオリサーチセンター)

## 第9回日本先進医工学ブタ研究会 開催のお知らせ

#### 謹啓

暮秋の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、第9回日本先進医工学ブタ研究会を、「ブタを用いた研究から開発へのアプローチ」をテーマとして下記日程で開催いたします。本研究会のシンポジウムでは、ブタを用いた研究の第一線で活躍されている先生方よりご講演を賜ります。会場にて活発な討議がなされることを願っております。本研究会が皆様の医工学研究にブレークスルーをもたらし、「先進農学技術と医学・工学技術を融合した先進ブタの作出と先進ブタを用いたトランスレーショナル研究を通じ、先進ブタ作出技術の普及・推進および研究成果の先端医療への応用を図ること」を目的とする本研究会の発展に寄与出来ればと考えております。

会場でお会い出来ることを心から楽しみにしております。

謹白

記

【会期】 2023年11月24日(金)13:00~11月25日(土)12:00

【会場】 東レ総合研修センター 研修棟 2 階 大研修室 (〒411-0032 静岡県三島市末広町 21-9 TEL: 055-980-0333)

【懇親会】2023 年 11 月 24 日(金)18 時 00 分~ 同センター センター棟 2 階 多機能室

【参加費】7,000円(懇親会参加費として別途4,000円を申し受けます)

【プログラム】別紙をご覧ください。

【研究会 HP】http://ikougakubuta.sakura.ne.jp/index.html

#### 【世話人会のご案内】

下記の通り世話人会を行います。ご多忙とは存じますが、ご出席いただきたくお願い申し上げます。

(日時) 2023年11月25日(土) 8:00~8:30

(場所) 東レ総合研修センター 研修棟1階 プレゼンテーションルーム

#### 【参加・宿泊申し込み】

以下の点についてメールまたは同封申込書により <u>11 月 16 日 (木)</u>までに事務局にご連絡下さい。 ①研究会・懇親会への参加: 研究会・懇親会への参加は当日受付も可能ですが、参加人数の把握のため、予め事務局までご連絡いただけますと幸いです。

②宿泊: 東レ総合研修センター内に宿泊(1泊朝食付税込み8,000円)を希望される方は、事務局にご連絡下さい。なお、すでに参加・宿泊希望をメールされ、事務局から折り返しの返事を受け取っておられる方は、本申込書の提出は不要です。返信を受け取ってない、あるいは変更がある際は、事務局までご一報下さい。

#### 【参加の方へ】

会場は、東レ総合研修センター 研修棟2階 大研修室です。開場時間は、11月24日(金)は正午、11月25日(土)は、午前8時です。受付にて、参加費7,000円(抄録集代を含む)をお支払いただき、ネームカードをお受け取りください。ネームカードにご所属とお名前をご記入のうえ、見えるところにお付けください。ネームカードが確認できない場合、入場をお断りすることがございます。紛失の際、再発行は致しかねますのでご了承ください。懇親会に参加される方は、参加費(4,000円)を受付の際にお支払いください。

なお、学生は参加費が無料ですので、受付で学生証の提示をお願いいたします。大学院生の方は、学生に含まれませんので、参加費をお納めください。

### 【演者の方へ】

発表時間は、一般演題は質疑応答を含め15分、シンポジウムは20分です。時間厳守でお願い致します。発表は、パソコンとプロジェクターを用いたものとさせていただきます。 USBメモリーをお持ちいただくか、PC本体をご持参ください。PC本体をお持ちいただく場合は、電源 アダプターを必ずご持参ください。また、プロジェクターに接続するためのminiD-sub15 pin 端子が装備されていることを確認し、交換コネクタが必要な場合は必ずご持参ください。発表の30分前までに受付をお済ませください。

#### 【企業展示のご案内】

会場には、本研究会に協賛いただく企業の展示ブースを設けますので、ぜひお立ち寄り下さい。

#### 【その他】

ご不明な点につきましては、下記事務局までお問い合わせをお願い致します。

#### 【事務局】

日本先進医工学ブタ研究会事務局

〒890-8520 鹿児島県鹿児島市桜ヶ丘 8-35-1 鹿児島大学先端科学研究推進センター 生命科学動物実験ユニット大動物研究推進部門内

TEL: 099-275-5496 FAX: 099-275-5502 E-mail: xenotoiawase@gmail.com

# 会場案内

会場: 東レ総合研修センター 研修棟2階 大研修室

所在地: 静岡県三島市末広町 21-9 TEL: 055-980-0333

### 【公共交通機関をご利用の場合】

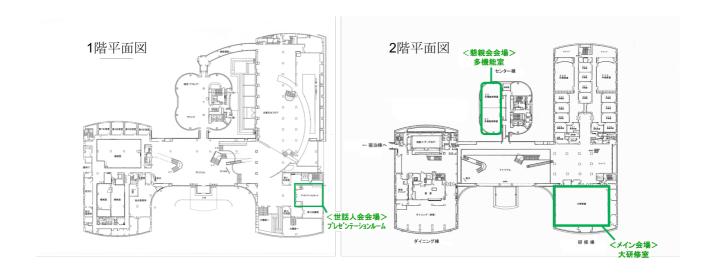






# 【お車をご利用の場合】

当センターには、利用者様向けの**駐車場はございません**ので、公共交通機関を御利用下さいますようお願い申し上げます。



## 第9回日本先進医工学ブタ研究会 運営事務局 行

返信先: FAX 099-275-5502 / E-mail xenotoiawase@gmail.com

第9回日本先進医工学ブタ研究会 FAX 返信用紙

# 第9回日本先進医工学ブタ研究会 研究会・懇親会参加および宿泊申込書

団体名等				
連絡先	〒 -			
	電話			
	FAX			
	E-mail			
所属		参加者氏名	懇親会参加	宿泊
			0 • X	要・不要
			0 • X	要・不要
			0 • X	要・不要
			0 • X	要・不要
			0 • X	要・不要

- 必要事項をご記入のうえ、11月16日(木)までにFAXまたはE-mailでご連絡下さい。
- 本研究会は参加申し込みの有無にかかわらず、研究会・懇親会共に参加いただくことは可能ですが、参加人数把握のために、申込書へのご記入、ご返送をお願い致します。
- すでに参加・宿泊希望をメールされ、事務局から折り返しの返事を受け取っておられる方は、本申込書の提出は不要です。返信を受け取ってない、あるいは変更がある際は、事務局までご一報下さい。
- 宿泊室数に限りがございますので、先着順となる旨を予め御承諾ください。変更・キャンセル については2日前までにご連絡ください(1泊朝食付税込み8,000円)。
- 申し込み時の情報は、本研究会に関わる連絡にのみ使用させていただきます。
- お問い合わせ先:第9回日本先進医工学ブタ研究会 運営事務局(事務局代表:佐原寿史) 鹿児島大学先端科学研究推進センター 生命科学動物実験ユニット 大動物研究推進部門 E-mail: xenotoiawase@gmail.com

TEL: 099-275-5496 FAX: 099-275-5502

### プログラム

# 第9回日本先進医工学ブタ研究会: ブタを用いた研究から開発へのアプローチ 2023年11月24日(金)13:00~11月25日(土)12:00 東レ総合研修センター 研修棟2階 大研修室(静岡県三島市)

### 11月24日 (13:00-18:00)

(13:00-13:05) 開会の辞(日本先進医工学ブタ研究会会長 大西 彰)

(13:05-13:10) 当番世話人の挨拶 (株式会社日本バイオリサーチセンター 狩野 真由美)

#### (13:10-14:30) シンポジウム 1. ブタを用いた開発へのアプローチ (医薬品・医療機器) (座長: 狩野 真由美)

- 1. 「ミニブタ迷走神経に対する Ca 受容体作動薬の作用検討によるコンセプトの確立」 徳永 紳 (協和キリン株式会社)
- 2. 「ミニブタを用いた医薬品開発におけるトランスレーショナル研究; pudexacianinium chloride (ASP5354) の 事例紹介」

伏木 洋司 (アステラス製薬)

- 3. 「血管内ステント開発における動物試験の位置づけ:医療機器開発の事例」 里見 純 (株式会社 JIMRO DES プロジェクトリーダー)
- 4. 「生体医療機器・再生医療等製品のためのブタを用いた安全性・有効性試験」 八木 洋 (慶應義塾大学医学部外科学 (一般・消化器))

#### (14:45-15:25) 特別講演. (座長:狩野 真由美)

「ミニブタ血液透析モデルが可能にした新たな医療機器の開発」 黒尾 誠(自治医科大学分子病態治療研究センター抗加齢医学研究部)

### (15:40-17:10) 一般演題 1. ブタの飼育・管理や種々の研究モデル (座長:佐原 寿史)

- 1. 「日本大学医学部医学研究支援部門における実験用ブタの飼育管理、実験準備、周術期管理」 奥田 珠季(日本大学生物資源科学部動物資源科学科 動物生殖学研究室)
- 2. 「ミニブタにおけるハズバンダリートレーニングの実践」

鈴木 博紀 (ふくしま医療機器開発支援センター)

- 3. 「新たに開発したアイソレーターによる無菌ブタ長期飼育管理技術の確立」 大竹 正剛 (静岡県畜産技術研究所 中小家畜研究センター)
- 4. 「マイクロミニピッグの1型糖尿病モデル作製及び経時的測定グルコースセンサーの活用について」 関 あずさ (ハムリー株式会社 筑波研究センター)
- 5. 「ゲッチンゲンミニブタを使った腎虚血再灌流モデル(ダブルクリップ法)」 鈴木 勇司 (株式会社日本バイオリサーチセンター)
- 6. 「わが国における異種腎移植の前臨床サル試験への準備として一小型ブタを用いた同所性腎移植トレーニング」 小林 英司 (東京慈恵会医科大学 腎臓再生医学講座)

### (17:20-18:00) シンポジウム 2. ミニブタを取り巻く現状について (座長:山崎 章弘)

- 1. 「ミニブタの研究分野における有用性、ブリーダーの取り組み」 矢吹 慎也 (オリエンタル酵母工業株式会社)
- 2. 「ブリーダーにおけるミニブタへの豚熱ワクチン接種対応と供給体制」 <u>齋藤</u> 敏樹 (日生研株式会社)

### (18:00-) 懇親会 (東レ総合研修センター センター棟2階 多機能室)

#### 11月25日 (8:30-12:00)

(8:00-8:30) 世話人会(世話人・名誉会員のみ: 研修棟1階プレゼンテーションルーム)

#### (8:30-8:35) 研究会運営報告

#### (8:35-9:55) シンポジウム 3. ブタを用いた開発へのアプローチ (臓器移植/再生医療) (座長:松本 太郎)

- 1. 「再生医療等製品の現状と研究開発における動物試験の有用性」 畠 賢一郎(株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリング)
- 2. 「バイオ 3D プリンタを用いて開発する再生医療等製品の非臨床試験〜中大動物試験を中心に〜」 <u>秋枝</u>静香(株式会社サイフューズ)
- 3. 「異種移植の臨床応用に向けた現状と日本における今後の展開」 佐原 寿史(鹿児島大学先端科学研究推進センター 生命科学動物実験ユニット 大動物研究推進部門)
- 4. 「遺伝子改変ブタを活用したトランスレーショナル・リサーチの実際」 松本 太郎 (日本大学医学部機能形態学系細胞再生・移植医学分野)

#### (10:05-11:50) 一般演題 2. ブタを用いた基礎的研究や移植・再生医療研究(座長:大西 彰)

- 1. 「ブタの血清に含まれる α-グルコシダーゼの機能構造解析と応用」 田上 貴祥(北海道大学 大学院農学研究院 分子酵素学研究室)
- 2. 「普通食と高脂肪食による LDL 受容体欠損ブタの冠動脈硬化巣への影響」 今泉 真桜(日本大学生物資源科学部動物資源科学科 動物生殖学研究室)
- 3. 「移植再生研究におけるブタ胎仔臓器の新たな研究ソースとして」 松井 賢治(東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科)
- 4. 「Bio-3Dprinted construct for cartilage defect regeneration」

  Anna Nakamura (Center for Regenerative Medicine Research, Saga University)
- 5. 「マイクロミニピッグの主要組織適合抗原複合体 (SLA) と繋殖成績との関係」 安藤 麻子 (東海大学医学部基礎医学系分子生命科学)
- 「アダルト・マイクロミニピッグにおける脳 MR アトラス」 杷野 一輝(岐阜大学 高等研究院)
- 7. 「マイクロミニピッグの脳発達と老化に関する発達成長学・系統解剖学的研究」 高垣 堅太郎 (山梨大学医学部解剖学講座 システム生物学教室)

### (11:50-11:55) 当番世話人および次期当番世話人の挨拶

(11:55-12:00) 閉会の辞(日本先進医工学ブタ研究会会長 大西 彰)